

岡山のシンボルとも言える黒い天守閣が特徴な別名「烏城」

岡山城跡



指定区分	国指定史跡
読みかた	おかやまじょうあと
所在地	岡山市北区丸の内・後楽園
指定年月日	昭和62年5月30日
解説	黒漆塗の下見板が特徴的な天守閣を持つことから、「烏城(うじょう)」とも呼ばれるようになった。岡山城は16世紀末に宇喜多秀家が現城郭の基礎を作る。寛永9年(1632)池田光政が鳥取から岡山に移り、以後明治維新まで藩主池田家の居城となる。昭和20年6月の空襲で天守閣と石山門を焼失したが、月見櫓(国重要文化財)は現存している。また、昭和41年に天守閣を鉄筋コンクリートで再建された。史跡指定地には岡山後楽園を含む。
アクセス方法	路面電車「城下」から徒歩10分
公開状況	【天守閣】入場: 9:00~17:00 / 休館: 12.29~31 / 有料 / 問: 086-225-2096
設備	駐車場は周辺有料駐車場を利用 駐車場  トイレ  障害者用駐車場  障害者用トイレ 
備考	史跡は烏城(うじょう)公園として史跡公園整備されています。史跡内の月見櫓、西の丸西手櫓は国の重要文化財に指定されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	岡山城跡
よみかた	おかやまじょうあと
しょざいち (所在地)	岡山市北区丸の内・後楽園
していつひ (指定した日)	昭和62年5月30日
せつめい	岡山城(おかやまじょう)は江戸時代(えどじだい)には岡山の殿(との)さまとして池田家(いけだけ)が住んでいました。敷地(しきち)の中で一番高い天守閣(てんしゅかく)の壁(かべ)が黒いことから、「烏城(うじょう)」と呼ばれています。お城は昭和20年の岡山空襲(くうしゅう)で焼(や)かれましたが、今ではふたたび建(た)て直(な)おされています。